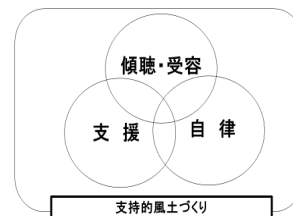


支持的風土の理念 「傾聴・受容」「支援」「自律」とは

「傾聴・受容」「支援」「自律」は、支持的風土づくりにおいて重要です。学校支援課では、今年度この3つを“支持的風土の理念”として以下のようにまとめました。「傾聴・受容」「支援」「自律」を改めて考える手がかりとしてください。

支持的風土の理念



傾聴・受容とは

- 相手を理解するために、積極的に関心をもって注意深く聴くこと。
 - ・ 言語メッセージだけでなく、非言語〔表情、しぐさ、声の調子〕から、言葉の背後にある感情を受け止めて共感することが大切です。
- 傾聴を行うことで、引き出された、相手の気持ちや考えを尊重し、相手が、安心感を得ること。
 - ・ 聴き手が、相手の考えや感情をそのまま受け止める態度や姿勢を示すことが大切です。

支援とは

- 相手の立場や状況、気持ちに応じた援助をし、相手に自信をもたせること。
 - ・ 手をさしのべる、時には見守るなど相手の身になって援助することに心がけることが大切です。
- 相手が困っているときには、だれかれなく進んで手をさしのべること。

自律とは

- 事実を基に的確に状況を捉え、自分の目標、集団に共有されている価値に照らして適切に判断し、行動できること。自分の行動に責任をもつこと。
- 自分の行為を振り返り、今後どうすべきか考えること。

上で示している「傾聴・受容」「支援」「自律」の説明は、「こうあるべきだ」「こうでなければならぬ」と断定したり、結論付けたりするものではありません。「傾聴・受容」「支援」「自律」とはどのようなものなのかを考える一つの手がかりとして示しています。子どもの実態、発達段階と照らし合わせながら、「傾聴・受容」「支援」「自律」を再考するための参考資料として活用してください。

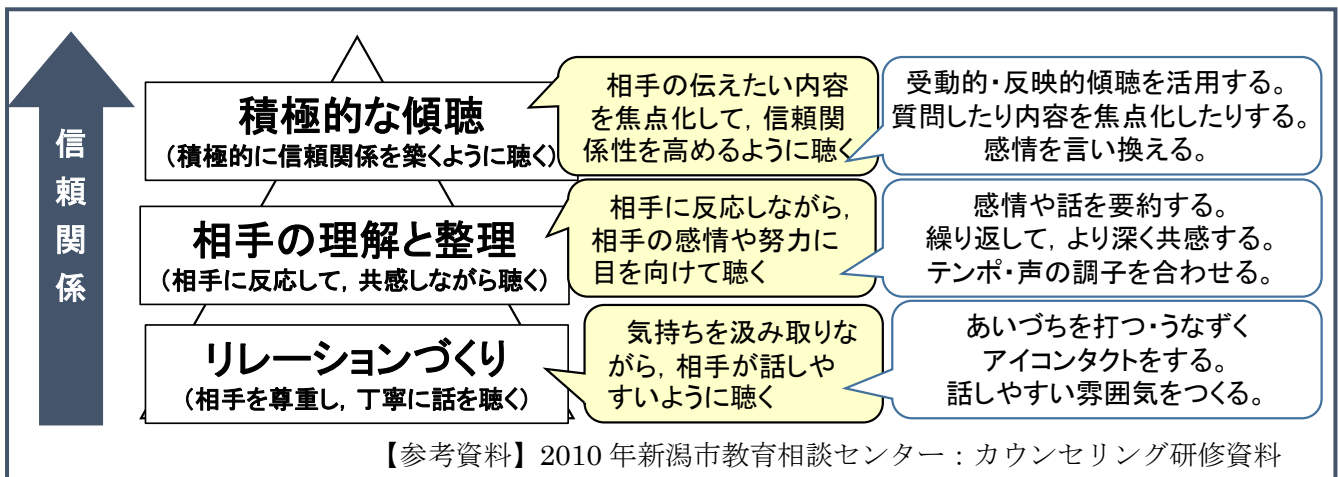
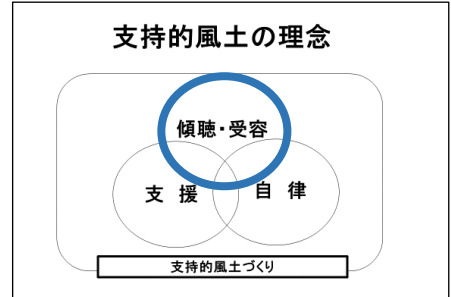
「傾聴・受容」は、支持的風土づくりにおいて、とりわけ重要です。人間関係は、自分の話を心を込めて聴いてくれる人との間で築かれます。

次号は、「人間関係を築く鍵 傾聴」です

人間関係を築く鍵 「傾聴」

「傾聴」とは、「相手を理解するために、積極的に関心をもって注意深く聴くこと」です。言語メッセージだけでなく、非言語〔表情、しぐさ、声の調子〕から、言葉の背後にある感情を受け止めて共感することが大切です。

「傾聴」を考えるうえでの参考例として以下の3つの段階を紹介します。



言語で伝わるメッセージは約7%。非言語で伝わるメッセージが約93%であるとも言われます。

傾聴のポイント 「言語から伝わるメッセージを聴く」そして「非言語を観察して聴く」

言語のみならず、非言語も含めて“人の話を心を込めて聴き合う”ことが、人間関係を築く鍵となります。

TOKKATUサプリ①

今号から「TOKKATU サプリ」で、特別活動や学級活動の指導のポイントやアクティビティを紹介していきます。今回の指導のポイントは「みる」です。

支持的風土を醸成するには、担任が今の学級の間人関係を把握する必要があります。そのために担任は、学級をいろいろな見方でじっくりと「みる」ことが大切です。

「みる」には… 見る 観る 覧る 視る 看る 診る などの見方があります。熟語にすると… 見学 観察 一覧 注視 看護 診断 などになります。

例えば、朝のあいさつの様子を見ます。子どもの雰囲気から体調や気分も分かります。あいさつを交わしている子ども同士の様子から人間関係もみえてきます。また、時には、昼休みにさりげなく「どこで、誰と、どのように過ごしているか」を見ます。教室に留まらず、体育館や図書館等も回ります。委員会、当番や係の仕事に取り組んでいる様子もみることができます。「みる」ことで子ども一人一人の特性、子ども同士の関係、学級や集団の実態を把握することができます。

次号は、「こんなことしていませんか？ こんな聴き方がいいですね！」です

<お知らせ>

支持的風土だより

テロワール

「テロワール」に関する感想や実践例を

募 集

しています！

「テロワール」創刊号より

相互通行のあるたよりに

このたよりに関する感想等を募集して紹介する、研修に参加した方の声を載せていくなど相互通行のあるたよりに目指していきます。

←左の記事を「テロワール」創刊号に、掲載しました。

早速、創刊号・第2号に関する感想等を多くいただきました。ご多用の中、感想を寄せていただいたことに心より御礼申し上げます。一通一通大切に読ませていただきました。いただいた感想は、支持的風土部会で全て目を通し、今後の支持的風土だより「テロワール」をより充実したものにしていくための貴重な資料

とさせていただきます。(紙面の都合上、全ての感想を掲載することはできませんが、今後随時紹介していきます。)

今後も、「テロワール」に関する感想や実践例を募集しております。どうぞ宜しくお願いいたします。

【「テロワール」に対する感想等 投稿の仕方】

1 投稿手段

メール

学校支援課宛 gakko@city.niigata.lg.jp

※メール件名 「支持的風土だより第●号感想等」

※メール本文に感想等を直打ちでも構いません。添付にて送付でも構いません。

※学校PCから投稿してください。個人携帯等からの投稿はしないでください。

2 記載内容(次のうちのどちらかでも構いません)

- 「テロワール」に対する感想等
- 実践例(学級や学年, 学校で「こんなことをやってみた」「子どもがこう変わった」など)

※ 内容や書き方, 字数にきまりはありませんが, 多すぎないようにお願いします(A4 1枚以内くらいを目安に。数行でも結構です)。お気軽に感想等や実践例をお寄せください。

3 記載注意事項

- ・ 必ず, 学校名と氏名をお書きください。

(学校名と氏名は便りに本人の許可なく載せることはありません。個人名は載せません。必要に応じて, 学校名を載せることがあります。その際は, 必ず許可を得てから掲載します。)

4 募集締め切り

- ・ 「テロワール」に関する感想等や実践例は随時募集しています。第●号の締め切りは●月●日と決めていませんので, お気軽にお寄せください。